

令和3年度6月（第3回）雲仙市教育委員会定例会会議録

期 日 令和3年6月28日（月）午後1時30分から午後3時10分
場 所 雲仙市千々石庁舎3階 大会議室
出 席 者 ・下田和章教育長 ・前田眞一教育長職務代理者 ・森下祐樹委員
・仁禮智加子委員 ・駒田義弘委員
・事務局 （富永教育次長、小松参事監兼総務課長、草野学校教育課長
堀田生涯学習課長、加藤スポーツ振興課長
総務課 森田参事補（書記）

欠 席 者 なし

会議日程

第1 前回会議録の件

第2 報告事項

- (1) 教育長の報告
- (2) 各課の事業等の取り組み状況及び計画
- (3) 各課からの報告

第3 付議事項

報告第5号 議会の議決を経るべき議案の意見の申し出について（雲仙市立公民館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例について）

議案第4号 雲仙市学校給食運営審議会委員の委嘱について

第4 その他

令和3年度第1回総合教育会議の協議テーマについて

次回雲仙市教育委員会定例会の招集日程について

教育長が令和3年度6月（第3回）雲仙市教育委員会定例会の開会を宣言する。

日程第1 前回会議録承認の件

「前回会議録承認の件」を議題とし、令和3年度第2回定例会会議録署名委員に仁禮委員及び駒田委員を指名する。

事務局

- ・会議録を読み上げ提案する。

委員

- ・前回、図書館の情報システム貸借業務のプロポーザル審査委員会の設置要綱の議案が取り下げられたが、その翌日に図書館法の改正で蔵書のコピーをメールで送信できるようになるという報道があったが、その関連もあって取下げたのか。

事務局

- ・その関連ではなく、うちの予算の関係で取下げをお願いした。

教育長

- ・他に意見、質問がないことから第2回定例会会議録の承認を宣言する。

日程第2 報告事項

(1) 教育長報告

- ・教育長が資料により、月例報告について説明・報告を行った後、教育次長より令和3年第2回雲仙市議会定例会の概要について説明する。

委員

- ・矢崎議員の一般質問にある高校生の通学助成については、雲仙市外の学校に通う雲仙市の子にお知らせをして、助成しているのか。

事務局

- ・この補助金は、県の補助金なので市は直接タッチしていない。
現在、市の中学校を卒業した半分以上の子どもが市外の公立高校に進学している。その要因として諫早市内の高校が校区となっている地区があることや商業高校や農業高校といった学校が雲仙市内に無いということがあると思っている。
市外に通う通学費の負担が子育て世帯の家計を圧迫する大きな要因になっていることから、平成30年度から2年間、雲仙市から県へ通学費補助の拡充について要望を行った結果、令和2年度から低所得家庭に対する補助が飛躍的に拡充された。それ以外の家庭についても、通学に要する運賃が月額3万円を超える場合という制限はあるが拡充されている。しかし余りこの補助制度が充実されると市内の県立高校に進学する生徒が減ってくる恐れがあるので、県への要望は2年限りで止めている。

委員

- ・公民館の使用料の件については、9月に再度上程するというので議決される見通しか。

教育長

- ・文教厚生常任委員会では承認いただいたが、早急に見直しを求める付帯決議がなされたようだ。早急に見直しをして、9月議会に再度上程しなければならない。

教育長

- ・他に意見、質問がないことを確認する。

(2) 各課の事業等の取組状況及び計画

事務局

- ・資料により各課別に説明する。

委員

- ・多比良小学校遊具解体工事とあるが、学校の遊具が老朽化して危ない状況になっていないか心配している。危ない状況の遊具は全て解体するのか。

事務局

- ・学校の遊具は、現在学校で点検を行っていて必要に応じて修理しているが、学校によって遊具の数にばらつきがあり、痛みの状況によっては取り換えではなく解体撤去のみ行っている。市では学校に限らず、市内の公園全ての遊具について、専門家による点検を進める方針で検討を進めており、学校においても来年度以降、専門家による点検を考えている。遊具については、将来的に全ての学校である程度統一したい。

教育長

- ・遊具については、瑞穂すこやかランドにあったジャングルジムも一つ撤去している。

委員

- ・県内や県外の試合に出場する場合、激励費の申請が出されると思うが、その際、教育委員会からコロナ対策について一層注意、指導を行って欲しい。

事務局

- ・コロナ禍においても、大会出場の激励費の申請はあっているので、申請時に、大会出場に際してコロナウイルス対策を行うよう指導をして徹底したい。

委員

- ・ふるさと平和学習について、この学習がふるさとというところをしっかりと強調されて、目を向けられた教育になっていると感じた。悲しい歴史があって、小学校に行くのが当たり前みたいなこの「平和」は、本当に大事なんだということを子供たちが意識してく

れたらいいなと話を聞きながら思った。

もう1点、生徒数の減少で部活動の編成とか難しくなって、教育委員会も非常に苦労しているかと思うが、市内の中学校を卒業した高校生たちが、県高総体で活躍をしている。何よりもうれしいと思う。高校に行っても頑張っ続けて活躍している生徒が居るということは、あとに続く生徒たちの励みになると思う。

委員

・吾妻のテニスコートでトラブルがあったという話は聞いているか。サンスポーツの利用上のトラブルで、予約をして使いに行ったらすでに誰かが使っていた、ということがあったようだ。吾妻体育館に電話したら、担当者が来て指導したようだ。

使っていた人は、仲間が借りにいっている段階でもう既に使っていた。すでに予約していた人が、自分たちが借りているのに、相手の方が、「自分たちが借りている」と言われたので吾妻体育館に電話をして、担当が指導されたようだが、その中に市の職員がいたので、「市の職員がそんなことをして良いのか」という話が出ている。ここは鍵が無いので、自由に使える。照明も自由に使えるという状況なので早急に改善すべきと思う。

また、サンスポは時計の時間がずれていて、次の人から「もう時間とっくに過ぎてますよ」と言われることもある。それ以外にも蜂やネットの破け、草はボーボー、たばこの吸殻もいっぱいあった。

愛野のコートは苔が生えていてボールが非常に汚れる。遊学のコートは、草が30センチも40センチも丈がある草が生えている。たばこの吸殻もいっぱい落ちていて、試合のたびに、中学生に拾わせている。瑞穂のコートは、芝が破けて危なかったのも、事務所をお願いして一緒にアルミのテープを張って応急的な修理をした。ここでも蜂に刺された。また、コートは吾妻側にコンセントみたいなのがあってそこがむき出しになっている。こういう所は利用者が言わないとわからない部分もあるかと思うが、担当もたまには見回りをしていくことが大事かなと思う。

事務局

・借用申請の件については、ちょっと確認をしたいと思う。草については、梅雨明けのタイミングを見て刈ろうと思っていた。梅雨に入る前と梅雨明け後に草刈を行うと草が生える頻度が少なくなっていくとっていて、御指摘のとおり、吾妻のサンスポーツランドも、愛野も、小浜も草が生えている状態になっている。

テニスコートの時計については承知していて、こまめに時計の調整を行うよう担当に指示をしている。瑞穂すこやかランドテニスコートの人工芝の状況については、本来であれば、御指摘のとおり、全面張りかえるべきと考えているが、予算の都合で部分的に補修をしている状況にある。

委員

・草を刈って無いから蜂とか虫とかいっぱい来るのかなと思う。吾妻のサンスポの場合は「マムシが出ます」という看板があるのに草が多いので、ボールが向こうに行っても拾いに行けない。だからそこら辺ボールいっぱい落ちている。

あと、長崎市に緊急事態宣言が出されたら長崎市の中学校が雲仙市とか、島原市にどんどん借りに行って、こっちの者が借りられないという状況になって、それを担当者に言

っても、「こちらから借さないとは言えない。」という返答だったが、これって良いのかなと思う。向こうは緊急事態が出ているから制限されているはずなのに、こっちにどんどん借りに来て、こっちは断れなくてどんどん貸して市民が利用できないというのはおかしいと思う。

事務局

- ・先月あたりは、市外からの利用がかなり多い状態だった。使用料金は市外の利用は倍額にして差は付けているが、現場からもそういう声が上がっている。市としては、外部からの利用を禁止する明確な理由もなく受入れている状態である。

教育長

- ・今までも他の競技からも福岡とか佐賀からこっちに来ているという話があった。うちが市の方針として他市からの利用を制限する考えを出せば減って行くと思うが、なかなか今の状況で「来るな」とか「貸せない」とは言えない。
たばこの吸い殻が落ちているのはコート内ですか、施設内ですか。

委員

- ・先日、小学生から中学生、高校生、一般の人まで全部出られる市民のソフトテニスの大会有ったが、その時に余りにひどいので保護者が本部に言いに行ったら、そっちでも吸っていたらしい。小さい子どももいるのに、大人がそういう配慮をしないでたばこを吸って、しかも吸い殻を捨てている。さすがにコートの中には無いが、吾妻でもコートの外にある。

事務局

- ・今後申請を受付ける際や大会等の共催、後援依頼があった時に注意したいと思う。

教育長

- ・中体連の時は、全面禁煙をお願いしたらどうか。

事務局

- ・会場によっては、吸って良い場所を決めてある施設もあるが、中体連に言って来場する方にも遠慮してもらおうようにしていきたい。

教育長

- ・学校教育課の人事管理の説明の中で、教員の採用試験とか、管理職の試験について報告があったが、今、臨時的任用教職員の余裕が無くて例えばこれから出産を迎える先生の代替であるとか、病休をとられる方の代わりに先生とかも見つからないような非常に厳しい状況のようだ。委員の皆さんが御存じの方とか情報があればぜひ、学校教育課に紹介して欲しい。

事務局

- ・非常に枯渇をしている状況で、今年度小学校では出産のための休暇に入る人が2人、確実にわかっているが、その人の代わりがまだ見つからない。安心して産休に入れるようにしたいが、そのように苦しい状況が続いていると。

数年前は、例えば中学校でこの教科はないけどほかの教科はあるということがあったので、例えばその教科に入ってもらって、あとは校内で調整してもらおうということが可能だった。しかし今年は、もうそれももう全く枯渇している状況で、中学校の先生に小学校に行ってくれということも出来ない状況にあるとのこと。

これはもう全国的な状況で、熊本から来てもらうことも出来ない。以前は天草から来てもらったこともあったが、それも出来ない状況で非常に困っている。

教育長

- ・今日、退職校長会の会長が来られた時にそのことをお願いすることを忘れていた。もし良かったら退職校長会にもお願いしてもらえたらと思う。

日程第3 付議事項

- 1、報告第5号 議会の議決を経るべき議案の意見の申し出について（雲仙市立公民館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例について）

事務局

- ・資料により説明

教育長

- ・今説明があったように、例えば調理室で比較すると千々石公民館の方が広さは若干狭いのに冷暖房使用料が100円高い状態になっている。夢未来センターと同等になるように使用料と冷暖房使用料を設定していたが、夢未来センターは文化会館の設置条例で、使う目的は大体同じだが、公民館としての位置付けと文化施設ではそこが合っていないがあるので、速やかに調整をして、また9月に上程したいと思っている。

教育長

- ・その他特に意見質問が無いことから承認を宣言する。

- 2、議案第4号 雲仙市学校給食運営審議会委員の委嘱について

事務局

- ・資料により説明

教育長

- ・特に意見質問が無いことから承認を宣言する。

日程第4 その他

1、令和3年度第1回総合教育会議の協議テーマについて

委員

- ・これと言って無いが、これまでにあまり話合っていない分野は何かないのか。

事務局

- ・できるだけ学校の話題に偏らないよう、スポーツや生涯学習についても話し合ってきた。文化財については直接ではないが、郷土を守り育てる活動というテーマで文化財についても少し触れたことがある。全般的にみると、学校の話題が多いと思う。

委員

- ・生徒数の減少に伴って、中学校ではどこの中学校もクラブの存続とかも厳しくなっている状況で、クラブがどんどん減っている。生徒数が減っているのにクラブ活動に入っていない俗に言う帰宅部の率がどんどん増えてきている気がする。以前は、強制で必ず文化なりスポーツなり部活の参加というほぼ半強制みたいな感じの学校もあったが、今はそこまでは出来ないという状況にあると思うので、もう少し簡単に入れるようなクラブ活動、体をちょっと動かすのが苦手な子でも取り組めるような、そういうのも少し考えてみたらどうかと思う。スポーツばかりだと選びようがなく結局、もう何も入らない。かといって、塾に行くわけでもなく、家でごろごろしているという状況になるよりは、何かそういう部活動について、より深く話し合えたらと思った。

教育長

- ・少子化、児童生徒数の減少に伴う部活動の在り方であるとか、放課後の子供の過ごし方という意見が出たが、部活動の加入率は、だいたい80%ぐらいと思っていたが。

事務局

- ・詳しいデータは持っていないが、今年度多い学校が91%、少ない学校が71%と少し差が広がってきているが、雲仙市全体で平均すると8割以上は入っている状況である。

委員

- ・ブラック校則とか新聞やマスコミで賑わっているので、そのことについてどう取り組んで行くのかとか、性的マイノリティの対応で、高校とかでは女の子がズボンを選べるジェンダーレスの制服もある。今後中学校の制服もそういうふうにするようにしたほうが良いんじゃないかとか、更衣室とか、トイレとかそういった多目的化したほうが良いんじゃないかとか、今後の雲仙市の方向性を話し合っても面白いのかなと思う。

教育長

- ・今、一番注目されていることだと思う。ジェンダーのことについても今後必要になることだと思う。

委員

- ・具体的に焦点を当てて協議をすることは非常に大事だと思うが、前回、市長と話した言葉が頭に残っていて、学校と家庭地域の連携というところについて、保護者代表の委員や市長さんと語り合えたらいいと思う。

教育長

- ・学校、家庭、地域の連携のテーマの中で、校則であるとか、放課後の子供の過ごし方であるとか、いろんな定義も入ってきても構わないのでは。

事務局

- ・先ほど委員からあった少子化の影響、クラブ活動以外もあると思うので、今後に向けてそういった話題でもご意見も聞かせてもらえたらと思う。

事務局

- ・クラブの数に対して子どもの数が少ない。中総体も連合チームで出場という話があるし、小学校のクラブ活動でも単一クラブでは出場出来ないのと一緒に大会に出るけど練習は別々とかそういうことも出てきているので、そういったことについての意見も聞きたい。

事務局

- ・今の意見をもとに、市長の考えを確認した上で決定をしたいと思う。

2、令和3年7月29日（木）午後1時30分から7月定例会を雲仙市千々石庁舎3階大会議室で開催することを確認する。

3、その他

委員

- ・昨年は中体連の前に陸上競技を公認の大会にするようお願いして公認にしてもらったが、今年は公認になっていないような話だった。今年の大会では大会記録が出ていて特に3年生の1, 500mのタイムは結構いい記録で、たぶん県のランキングでも比較的上のほうに位置づけられると思われるが、公認の大会じゃないと県中総体のランキングは出るが、公式なランキングにはたぶん載らない。せっかくこういういい記録が出た場合でも、公認の大会にするのとしらないのでは価値が変わってくる。本人の中でもせっかく出した記録が非公認というのは残念と思うんじゃないのか。

中体連の中で県下統一して公認の大会にすることは離島部があるので出来ないと思うが、出来る環境がある所に関しては、できれば子供たちの事を思うと公認の大会にしてあげたらと思う。手続的に事務局も大変だと思うが、試合を進めることに関しては多分大丈夫なのかなと思う。

教育長

- ・審判員とか、その辺の人的な環境は大丈夫ということか。

委員

- ・そこは、どういう風になるか判らないが多分、今の状況では問題無いと思う。途中で時間ごとに気温や風速などを細かくチェックして報告しないといけなくなる。

事務局

- ・一昨年のこの定例教育委員会の中で委員からその話を聞いて、当時の中体連会長にその旨を相談した。それほど手間とか費用とかが掛かる訳では無いという事で早速その年からも公認の申請をした。風力計を置いて、審判員がいれば良いと言う事だったので昨年も同じようにやったので今回も公認だと思ってたが、もしかしたら申請か何かをしてなかったのかもしれない。確認をして中体連会長にもそれほどの手間がないんだったら、子どもたちのためにもしたほうが良いという方向で話をしたいと思う。

教育長

- ・ほぼ無風で、ぬくかったと書いてある。

事務局

- ・風を計るやつは置いては有ったようですが、気温の記録とかがちょっと判らないようだ。

教育長

- ・公認になっている可能性もあるので確認をお願いしたい。

委員

- ・前回の教育長の言葉に教育委員会が所管している施設の数も多いが管理している人も多いとあった。多くが会計年度任用職員だと思うが、外部の人への対応ということについて問題はないのか。会計年度任用職員でも庁舎内に勤務する人は、周りの職員の動きとか話を見たり聞いたりして、自然に良い対応ができていると思う。ところが離れた施設に勤務する会計年度任用職員については報告、連絡、相談という意味が判って仕事をしているのかなと思う人もいる。ともすれば、自分たちでコソコソと話をして、それで仕事が進められると思ってる人もいるんじゃないのか。長く勤務した人は、自分の判断でどんどん先に進めている人もいるかもしれない。

私は、それは本来の姿じゃないと思うので、担当者を集めた会議の際でも仕事の進め方について、教育委員会から指導的な立場で話をして、もう1回引き締めていいんじゃないのかと思う。ただ事務連絡的な話をして終わるんじゃなくて、再度望ましい仕事ぶりということについて話をして、指導をしたほうが良いと思う。そうじゃないと、会計年度任用職員の意識に、最後はその人次第と思うが、いろんな違いが出てくると思う。

昨年、部署を超えて何か依頼等をする時には、担当課長に文書できちんとやりとりをするようにという通知があった。職場内で回覧をしたけども、意味が判っているのかなと思ったこともある。ですから、望ましい仕事については、しっかり指導をされているの

かなと思う。

事務局

- ・生涯学習課には、多分56人ぐらい会計年度任用職員がいる。人事評価の面談をしたので、顔と名前は大体一致しているが、委員のご指摘通り、駐在とかに任せっきりになっている面もあって、いろいろな判断についてそういう部分があるなあと聞いていた。今後はその辺を意識して面談に臨みたいと思う。

事務局

- ・会計年度任用職員の前期の面談をやっているが、今まで長く勤めて来てずっとこうやって来たからって言う人もいる。我々は、条例、規則のもとでやっていく必要があるので、今まで当たり前みたいにやってきてという所は理解しながらも改めるべきは改めて行かなければと思う。お互いの信頼関係もあるので話し合いをしながら進めていく必要があると思う。

事務局

- ・日頃、いろいろな文書が施設から上がって来るが、「以前のままです、去年のままです。」という理由で進めていることも多い。去年のままでも正しいかも知れない。でも去年のままでも良い所とそうでない所があるということを経験や所管で、これを改善するためにどうすれば良いかという意識を持ってやっているのかという事を時々感じることもある。なかなかそれを一度に全て改善させようというのは難しいかもしれないが、委員の意見のように、やはり日常的にそういった外部から受ける影響が無い所については、私たち職員が研修なり行って身に付けさせる事が必要じゃないかと感じている。私たちが含めて、去年やったとおりにやれば仕事としては一番無難だが、それではやはり、改善、向上にはつながらないと思うので、折々に触れて会計年度任用職員の研修をやっていきたい。

教育長

- ・会計年度任用職員とか、市の正規職員とか言っても市民の方から見たらどちらも一緒だ。市では来客の対応が悪かったりすると、「こういうことがあったので以後気を付けるように」という文書が出されるが、市民から見たら会計年度任用職員とか、市の正規職員とか関係ないと思う。今回の委員の意見は、私たちに対する激励と思って各課長は各課で職員に話をして欲しい。

委員

- ・先週の金曜日からLINEの雲仙市役所公式アカウントが開設されていて、ちょっと調べてみたら今日の時点で200人登録している。今日の昼もワクチンに関するお知らせがいろいろ有ってて、これはすごく良いなと思った。これを市民講座のお知らせや結果の報告に使って、どんどん市民のみなさんが市民講座に参加するようになって欲しいと思ったが、活用する考えはあるのか。

事務局

- ・まだLINEではやって無いが、フェイスブックは活用している。LINEの方が即時性があると思うので、ぜひ活用していきたい。

教育長

- ・ほかに意見、質問、報告等がないことを確認し、令和3年度6月（第3回）雲仙市教育委員会定例会の閉会を宣言する。